

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ベンデッタ 357 マグナム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ベンデッタ 44 マグナム

フレアーの幅 インチ

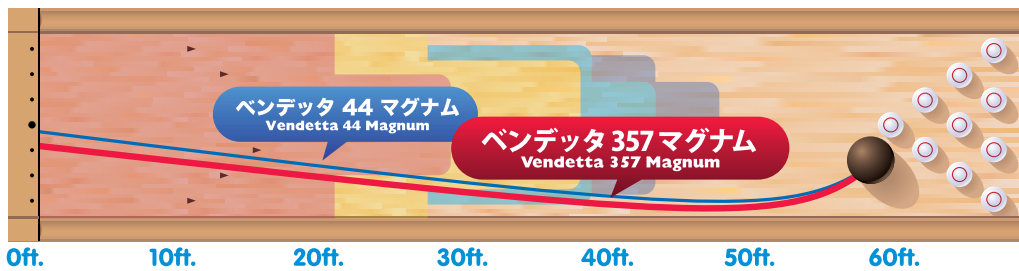
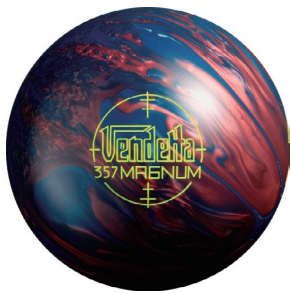
PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

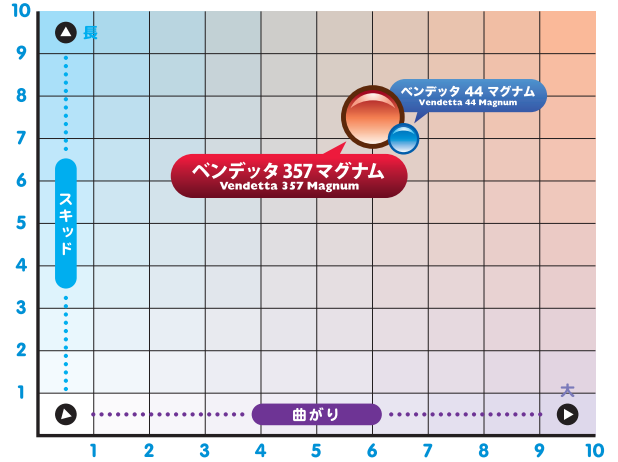
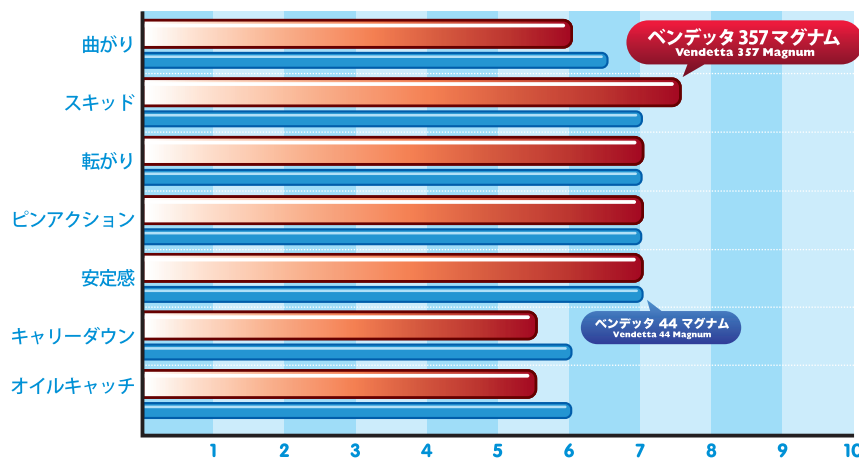
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

前作のベンデッタ 44 マグナムは、その安定したポテンシャルで数多くのボウラーに使用されました。中でもプロボウラーがトーナメントで使用している頻度が高く、また JBC の NHK 杯でもプロシヨック KINTA の佐々木選手がベンデッタ 44 マグナムを使用し優勝を飾りました。ベンデッタ 44 マグナムから採用された「Tru-Grip Reactive」にパールを混入し、超 LOW RG 弾丸コアはそのままに、より走りと切れを求めたアグレッシブなベンデッタ 357 マグナムを発売いたします。投球したイメージは、**パールを混入していることで、手前のスキッドは前作よりも軽く感じます。**しかし、この「Tru-Grip Reactive」の特徴か、パールを混入したことによりドライゾーンでの反応はベンデッタ 357 マグナムのほうがしっかりグリップするように感じます。**コンセプト通りベンデッタ 44 マグナムより走りを求めてはいますが、ただ走るボールの類ではなく、バックエンドリアクションのグリップはしっかりと感じるすることができます。**手前の軽さとバックエンドでのグリップ感のあるスペックのボールは、後半の荒れてきたコンディションでの用途が高く、ベンデッタ 44 マグナムと同様に多くのボウラーにきっと気に入って使用していただけるボールだと思います。ABS プロスタッフである相模原パークレーンズの市原竜太プロの評価も高く、ミックスダブルスに持込み、好成績を挙げています。

特記事項

テスターの評価も高く、ベンデッタ 44 マグナムを凌ぐボールとして自信をもって発売いたします。ベンデッタ 44 マグナムを気に入って使用して頂いた方、このベンデッタ 357 マグナムもきっとお気に入りのボールとなるでしょう。